

○新計画にかかる補足資料

・新計画 2 頁

壬申地券字引絵図とは

明治 5 年（1873）明治政府によって地券の作成交付が命ぜられました（壬申地券）。その際、各村ごとに提出させたのが「地引絵図」でした。文書館には約 1 2 0 0 枚の地引絵図が残されています。

・新計画 3 頁

特定歴史公文書とは

歴史資料として重要な公文書のうち、実施機関での保存期間満了後に、文書館へ移管されたもの。

管理受任文書とは

実施機関での保存期間が満了していない文書のうち、管理を実施機関から文書館に委任されたもの。

< 参 考 >

令和2年度 群馬県立文書館 テーマ展示1

絵図・古文書から探る郷土の姿

展示期間 前期：令和2年7月25日（土）～8月30日（日）
後期：令和2年9月1日（火）～11月22日（日）

ごあいさつ

じんしんちけんじびきえず くにあず

文書館には、壬申地券地引絵図・国絵図・村絵図など多数の絵図が収蔵されています。昔の絵図には、今も変わらない寺社、今は変わってしまった道や家並みや川の流れ、など様々な情報が刻まれています。これらの絵図と関連する古文書・地誌などの文献資料を合わせて考えると、かつての郷土の姿や人々の営みを再現することも可能です。この展示では文書館で収蔵する様々な絵図と関連する古文書を紹介します。

なおこの展示は、群馬県立歴史博物館で10月17日から始まる企画展『空からグンマを見てみようー国絵図・城絵図・町村絵図ー』との共催で開催します。企画展では、当館収蔵の絵図等も多数展示されますので、合わせてご覧下さい。

令和2年7月 群馬県立文書館

1. 絵図の世界へようこそ

③ 第四大区三小区群馬郡大友村地引絵図 明治6年（1873）2月



群馬県行政文書・A0181AMA57

明治6年に地券発行事業の関係で作成され、群馬県に提出された絵図です。一筆ごとに地番・字名・面積・所有者などが詳細に記載されています。大友村（現在の前橋市大友町）は、北から東へ滝川が流れ、中央には長尾長見寺・鎮守鏡神社などが描かれています。なお明治10年（1877）頃は、田反別16町1反余・畑反別33町3反余、家数61（うち社6・寺1）、人数男153・女120、の村でした（「上野国郡村誌」）。